

日刊 磐城時報

編輯部 石城郡平町新橋町十四
印刷部 石城郡平町新橋町十四
發行部 石城郡平町新橋町十四
電話 一四四
代印 所 磐城時報社
廣告部 一四四
印刷 一四四
電話 一四四
代印 所 磐城時報社

平小鐵道の路線を 片濱迂廻にする建議

鐵道大臣に建議方を 鈴木、古川、山崎縣議が提案

小名商港計劃ととも、東日本と表日本の聯絡はいよいよ急を告げ政府に於ては年度を繰あげて豫算を編成することになつたことは本紙屢報の如くであるが、右は平小鐵道は平町により飯野村を経て直線に小名濱町と結ぶ計劃に傳へられ斯くては太平洋の無限の豊産を擁する片濱を閉却することになり、獨り地方の振興發展に非ざる國家的見地からもゆるがせにすべき問題でなく是非とも片濱を迂廻する様敷設されたいと、城郡選出政友派鈴木辰三郎、古川傳一、山崎吉平の三縣議から十四名の賛成者を得て、加勢知事より鐵道大臣に建議されたいと今期縣會に建議案を提出した。

平町日用品物價

平町日用品物價の如し。
▲白米一等一キログ二錢五厘
▲同種米二キログ三錢五厘
▲同種米三キログ四錢五厘
▲大豆一キログ一錢二厘
▲小麦一キログ一錢一厘
▲粟一キログ一錢一厘
▲黍一キログ一錢一厘
▲雑穀一キログ一錢一厘
▲豆油一升三錢二厘
▲石油一升三錢二厘

常磐炭況

最近漸く石炭の需要期に入り炭價も幾分づつ高くなり需要も夫れと増加して來たので常磐地方各炭礦は活氣を呈して來たが、本年度後半期の營業成績は各炭礦共あまり思はしいものでなく出炭、送炭等の制限を行ひ漸く收支が續いてゐる位の状態に純年賀郵便物の海嘯に備へる事に突破する運びである。

年賀郵便で 目まよわゆる平局

殺到するのは二十四日頃 臨時事務員雇入

平郵便局に於ける年賀状の特別なつてゐる。而してその數に至る取扱ひは昨二十日から開始されつてはこれを今正月の賀状に徴したが、同日正午頃までの受付數は僅に五百通位に過ぎず各方面の諒解あけ第一次の新年だけの差出しが殺到して眞に多忙を極むる様になるのはどうしても二十四五日頃となる見込で局で御代を壽ぐ國民の赤誠から今便の取扱ひに従事してゐる八名既定の事實と見られてゐる、尙の外保險或は年金等に從事しては各方面から到着し元旦のスタる他係の應援を受け向は局員を押し捺し平局から配達され志望者その他から十五六名の臨時賀状の數は十五萬六千三百八時事務員を雇入れ總勢四十二三五通の多きに上り前記の三十名の多人數を以てハガキ、書狀五萬と合算する時は實に四十萬名を突破する運びである。

共済委員會 促進運動

小名濱商港

石城郡小名濱町では國會議會期中近づき、それに目下縣會開會中を好機として商港實現促進運動をなす事となり二十日高木郡農會主催郡中堅農民養成講義縣並に縣會に對して商港實現促進會第四回現地講習會は十九日進方について陳情した。

四倉町の 組頭問題

組頭問題

四倉町消防組頭は戸田雄章氏辭職したので後任組頭物色中であるが、今度は第三部から推す事になつてゐるので候補者として民政黨から金成岩吉、小港宗吉、兩氏、政友系から門馬倉次郎氏を推してゐる。

磐城海岸軌道で 連帶輸送

連帶輸送

小名濱町磐城海岸軌道株式會社が目下同社が運轉してゐる江名泉間を電化にする計劃を進めて

圖々しい女 詐欺數件を働らく

詐欺數件を働らく

東京市深川區靈岸町生當時住所の財界不況の際に俄に實不定無職前科二犯龜田はな(三現を圖る事困難な爲に電化の前六)は二十日午後八時半頃平町提として鐵道省との連帶輸送の結屋町下駄屋薄蔵方に至り、實現を圖り其筋に運動の結果最近これに認可の指令があつたの女給である」と稱しフエルトで二十日會社では重役會を開き草履價格二圓四十錢を詐取した外同夜十時半頃平町仲町そば店伊藤ナツヨ方無銭飲食をなしたる事を發覺平署に捕はれたがこの外數件の詐取事件を自白した。

最高十九割 平稅務署員述懐

最高十九割

去年三割を貰つた平稅務署員述懐
昨年末三三割といふと驚いたはせは稅務署の年末賞與は十九日それ、監督局から通知されたが今年過半來元員整理その他この方面にも今年だけに平稅務署員の割合を見ると最高が細目庶務課長の十八割七分で平均十六割といふ處、去年三十割以上も貰つた事などは、けろりと忘れて「營林署はよかつたぞうですなあ」と暖るを圍んで署長の出勤前を一同の述懐である。

平局の 通話擴張

通話擴張

平局より宮城、岩手、山形縣下左記各地への市外通話を來る廿六日から施行する旨十九日の官報で告示された。(數字は料金)
▲宮城縣 鎌先四五〇、大河原船岡、村田各四〇〇、常根、走刈田、圓田、川崎、魚田、丸森、金山、本郷四五〇、直理、荒濱、山下、百理途各三五〇、秋保、秋保湯、根白石四五〇、高砂四〇〇、海生、富谷、吉岡各四五〇、中新田、小野田各四五〇、宮崎六〇〇、松島四五〇、渡の波六〇〇、女川六五〇、飯野川六〇〇、三本木五五〇、小牛田、小牛田驛前、鹿島各五〇〇、涌谷、田尻、荒谷、岩土山五五〇、川渡鴨子各五〇〇、高清水、築館、福子各五〇〇、岩ヶ崎、金成各六〇〇、佐沼五五〇、燈米、米谷、石森、西部、猿河原各六〇〇、志津川六五〇、氣仙沼、大谷各八〇〇、新地、釣師濱、駒ヶ嶺、原釜、磯部、鹿島各二五〇

た陸軍偵察機修理のため同日午後小名濱滞在中の坪内中尉外五名來著したが午後四時までは修理ならず多分解体輸送することになるらしい。

磐城海岸軌道で連帶輸送
修理成らず
解体輸送か
山形縣 長井五五〇、南原四五〇、赤湯、高畑、宮内各五〇〇、雪河江六〇〇、谷地六五〇、天童六〇〇、柗岡六五〇、新庄七〇〇、鶴岡、酒田八五〇

飯野村の乾物泥棒

六十七の老翁
二十日午前九時頃飯野村大字柳内地内を通行中の老翁の舉動が不審なもので平署刑事が捕へて調べた處、この男は岩手縣稗貫郡内川目村生れ當時住所不定無職伊藤三太(六七)で去る十五日午後三時頃同村大字中山柳内村田辰吉方軒下に乾してあつた衣類數点を窃取した事を自白した。

賣られた大鷲

石城郡内郷村大字白水地内にて去る六日生捕つた大鷲は七日から平町一丁目渡邊銃砲店で飼養一日三四百羽の豚肉をたひらげ毎日數百の見物人が集まり賑つてゐたが、渡邊さんは東京下谷區東黒門町八菊池博物館本社に賣り渡し十九日午後發送した。

西洋料理の拵方

イワキ食堂主 森川泰一郎

スープの飲方
は一番六ヶ敷いだけが一番形(姿勢)が壊れ易いので、此時の要件は、左の人差指と拇指とで上からスープ皿を摘んで少し傾け、スプーンを前から向ふへ運んで口に持つて來ます。之れで洋食でスプーン(匙)を使う場合はいつも手前から向ふへ揃ふことを會得して下さい。然し此の時最も注意しなければなりません。事は上体を前に曲げず、顔を少し傾け、音をさせぬたこと、スープを流し込む様にすること、魚を噛む時は必ず、フエツシユナイフとフォーク(裝飾を施した普通のとは變つたもの)を使ふ

習慣であることを忘れないで下さい。然し骨のある魚には絶対にナイフを使用しないこととあります。其の時はフォークだけでたべるのですが、方式上左の手を遊ばせて置くことのない様にパンを一寸ツマンで左手に持つて、パンに付けないで喰へることが最も調法であります。そこで、喰べた時はフォークとナイフを皿の上に並行に載せ、ナイフは刃の方を左に向けて置くべきですが、ナイフとフォークを皿の左右に併せて置く時は、ナイフは刃の方を右に向けて置く必要であると認めて食卓から下げて行かない事を附記して置きます。
次がアントレ、これは普通の様な料理で、これは普通のナイフとフォークで喰べて宜しいのですが、若し嫌ひであつた時は(何の料理に照らす)ナイフとフォークを皿の上に縦に並行に載せて置くべきで、注意したいのは洋食では食べる速力を他人と均等にすることを自分一人だけサツサとたべて了はぬに於て嫌ひなものを、他の人がたべて待つてナイフが下げて來る頃を見計つてナイフとフォークを皿に載せる事が肝要であります。
次は野菜とローストでありますが、之れは全皿につけて出すことがあります。そして食へ方も特殊な方法があるわけではなく、普通のナイフとフォークで喰べればよいのです。オークを省く事にはいたしません。たゞ野菜の時アスパラガスが出る場合があります。(即ち西洋ウツ)此のアスパラガスは妙なもので、從來随分深山の珍話を製造する奇怪な料理であります。一寸御注意を致さなければ切口の方を摘んで先端を一寸ツマンにつけて二口、三口に喰べて残つておいて大概一皿に喰べて責任はありませぬ。以下明日(續く)

鳥御料理 よせなべ類

天井
仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り
電話四四二番

共栄ト存共

融金ノ易簡
蓄貯ノ味趣
堅ト意識
電話四四二番

松村病院

内科 専門
十二指 腸胃病
婦人病 淋病
皮膚病 専門
電話七〇一

驚いた!!!
こうまで安いとは
平・加納活版所の印刷物

防寒具の御用意は!!!

トインバビ
オトリ
モヂリ
九〇〇ヨリ
七〇〇ヨリ
四・五〇ヨリ
なかや洋服店
平町二丁目(電二〇三)

二葉印刷所

平町字仲町
電話七三四番

盛美酒眺月

永山酒造所小賣部
電話二〇七番

大學脱腸帶

子供さんの脱腸は必ず全治します
大人の脱腸は必ず止まります
このお押し帯の出現は患者の福音です
代理店 平町四丁目 電話一四四 小野屋薬舗
▲照會には親切に御答へします。説明書も送ります

耳鼻咽喉科

平町仲田町七一
新築 移轉 場所 合津醫院
電話五九五番

最新滋強 回春劑 ビーナス

定價(三圓五圓 拾圓 廿圓)
◎適應症(腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能、陰萎遺精、体力増進、新陳代謝等)
平町專賣所 平町五丁目角 山野邊藥局

味の旨 山崎合名會社

東京支店
電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三

釜屋商店

和洋銅鐵 金物問屋
磐城セメント會社特約店
磐城平 電話一九三九番

強アチゴ

治淋新劑
急性淋病、慢性淋病、消渴、膀胱炎等ニ用ヒテ偉大ノ卓効ヲ奏ス
平町一丁目(電話六四二番) 特約販賣店 大平屋藥店

父金作送葬之際は御會葬被成下且つ御叮嚀なる御香奠を賜り難有奉深謝候拜趣御禮可申上の處乍畧儀書中を以て御厚禮申述候
十二月二十日
川崎 文治
外親戚一同 敬具